

アメリカ合衆国における臨界前核実験に対する

抗議文

令和元年5月28日

大阪府寝屋川市長 北川法夫

# 抗議文

令和元年5月28日

在本邦アメリカ合衆国大使館  
特命全権大使  
ウィリアム・F・ハガティ 閣下

大阪府寝屋川市長 北川 法夫

貴国が2017年12月に続き、2019年2月13日に再びアメリカ合衆国ネバダ州の核実験場で核爆発を伴わない臨界前核実験を実施したとの報道に接しました。

核爆発を伴わないとはいえ、臨界前核実験を実施したことは、貴国が今後も核兵器を持ち続ける意志を表したものであり、被爆者をはじめ核兵器廃絶を求める多くの人々の願いに背く行為として、断じて許すことはできません。

恒久平和を希求している自治体として、今回の臨界前核実験に対し、厳重に抗議するとともに、今後のあらゆる核実験の中止措置を行い、世界の大国として核兵器廃絶と恒久平和の実現に向け、先導的な役割を果たされるよう強く要請します。

以上、本国へ伝達されるようお願いいたします。